

みんなの党大津通信

第9号

平成24年
3月30日発行

発行人 会派「みんなの党大津」／大津市御陵町3-1 市役所本館3F 議員控室／TEL.077-528-2726／FAX.050-3488-7717

みんなの党大津からのご挨拶



〔本会議一般質問の模様〕

平素はみんなの党大津の活動にご理解を賜り、誠にありがとうございます。三月は学校の卒業式、琵琶湖びらきとヨシ火祭りが開催され、湖国にも春の訪れを告げるイベントが続きました。そして大震災から一年

あらためて哀悼の意を申し上げます。

さて、大津市議会二月定例会は、越直美・新市長が就任されて初めての議会となりました。

来年度予算については、少子高齢化や経済状況の低迷によって扶助費（社会保障費や生活保護費など）が上昇し、新市長ならではの政策予算の計上が先送りされたにも関わらず平成二三年度予算とそう変わらない額となりました。実務を担う副市長も決まっていないなど、難しい船出となったことは否めないと感じます。

みんなの党大津としては、これまでと変わらず公務員制度改革を中心とした「行財政改革」と、地域経済の成長のため、一騎当千で議会活動を行って参ります。引き続きご厚情を賜りましたら幸いです。

1月

【下旬】
新市長（越直美氏）就任に際して開催された全員協議会に参加

2月

【月上旬】
5か所への行政視察
① 東京：不便地の公共交通について
② 豊田：先進的な人事制度について
③ 東京：いじめ対策について
④ 岸和田：先進的な人事制度について（下写真）
⑤ 高槻：バリアフリーの経済効果について

【中旬～下旬】
2月20日 2月定例議会が開会
2月29日 みんなの党大津所属 藤井哲也議員が一般質問（右写真）

3月

【月上旬】
来年度大津市予算議案を中心とした、合計78議案と、9請願に関して調査及び審議

【中旬】
3月16日 2月定例議会が閉会
公務員人件費に関して討論した上で、全議案に賛成



岸和田市へ「先端的な公務員人事制度」に関する視察のため訪問

「藤井哲也の市政一般質問と答弁（要旨）」

1 「市長マニフェスト」

藤井哲也からの質問

「市長マニフェスト」では、経済対策や雇用失業対策について掲載されています。その中の「トップセールスによる企業誘致」と、「雇用・失業者支援」について、具体的にどのような施策をマニフェスト掲載時には想定していたのかを伺う。

市執行部の答弁

「市長答弁」 新エネルギーや自然環境保護分野の企業誘致をトップセールスを行う。また、京阪神や東海北陸地方へのアグロセア面での拠点優位性があるため物流関係企業も誘致したい。
雇用・失業者支援では、学生向けの就職相談窓口を設置する。学生就職面接会も誘致した企業や、

経済団体加盟企業にも多く充実させる。あわせて競争力ある元気な起業家も育成する。

みんなの党大津の考え

滋賀県・大津市の景況感は今後、大津市が震災直後のテータです。単に企業誘致するだけでなく、新規創業支援や、新事業を後押しする政策を執行部には期待します。

2 「幹部人事の選理由と「政策統括監」新設の理由」

藤井哲也からの質問

市長就任後、政策統括監に総務省出身の笠松氏を起用し、教育委員会委員に前教育長の澤村氏を再任したが、どういった経緯で知り合ったのか、二元代表制の観点から伺う。

藤井哲也からの質問

「市長答弁」総務部長も同席していたと思うが、どうだったかを伺う。

市執行部の答弁

「総務部長答弁」市長と同じく覚えていない。

市執行部の答弁

「市長答弁」笠松氏と澤村氏には市長就任後複数の方から紹介をされて面会した。

みんなの党大津の考え

市長は二元代表制が重要というところで議会での議論が大切としています。万一、市長が行う人事に特定の議員の声が反映されているならば、市長が述べる二元代表制を自ら否定することになります。それにしても、市長、総務部長ともほんの半月前このことを覚えていないというのはどうなのか疑問を抱きます。

市執行部の答弁

継続的に政策に取り組んでもらう必要があるため新設した。

みんなの党大津の考え

大津市では、府市統合本部を設置し、継続的に各事案について調査や提言を行っている。府市統合本部の特別顧問がそれぞれ異なるメンバーだが報酬は、一日一万円から五万円程度です。単なるアドバイザーならば、顧問契約の方がはるかに「最小のコストで最大の効果をあげられる」と考えます。

市執行部の答弁

「市長答弁」説明に行った時、（ある団体と関係がある）議員が同席していたかは覚えていない。

藤井哲也からの質問

「政策統括監」は年間千

『幹部人事の選理由と「政策統括監」新設の理由』(続き)

藤井哲也からの質問

笠松氏の実績や資質をどのように評価されて政策統括監に起用したのかを伺う。

市執行部の答弁

【市長答弁】総務省や滋賀県での実績やこれまでの人脈を評価して起用しました。

藤井哲也からの質問

当然笠松氏が滋賀県商工観光労働部長だった平成22年、滋賀県と嘉田知事の選挙に不利になる記事

3 『市長退職手当と各種退職手当等』

藤井哲也からの質問

選挙の時から、現在に至るまで一貫して述べておられる「徹底した行財政改革」を進めていくのならば、まずは市長自らが率先垂範しなければ、市民はもとより市職員は納得しません。

市執行部の答弁

現在、大津市長は2千万円を超える退職手当を受け取りますが、まずは「徹底した行財政改革」の姿勢を示すためにも、自ら退職手当を減額すべきと考えますが見解を。

市執行部の答弁

【市長答弁】財政状況など、総合的に勘案しながら、検討をしていきたい。

みんなの党大津の考え

正直なところ、残念に思

みんなの党大津の考え

市長のコンプライアンスの感覚はその程度しかないのだろうかというのが、第一の印象です。

市執行部の答弁

【市長答弁】(県や知事にとって不都合な)新聞の差し止めを笠松氏が画策したことは、法令順守の観点から見ても、問題ないと考えている。

市執行部の答弁

【市長答弁】(県や知事)市長は「問題がない」と言いますが、これは市長の法令順守の姿勢を如実に示しているといえます。

3 『市長退職手当と各種退職手当等』

藤井哲也からの質問

います。政策的事案なら予算が伴いますので、拙速な判断を避けるべきだと思いますが、市長退職手当は市長さえよければ、すぐにでも減額することができます。減額の多少は別として、減らすことは明言して頂かなければ、内外に「徹底した行財政改革」の姿勢や覚悟を伝えることはできません。「言っただけ」「かけ声だけ」の行財政改革ならば、だれも付いてきません。6月議会まで時間があります。市長にはしっかりと検討して頂いてその覚悟を示されることを期待しています。

市執行部の答弁

【総務部長答弁】国では職員に対して官舎があるが大津市では職員住宅はない。持ち家率も高く、地域の実態に合せて支給している。

藤井哲也からの質問

市職員には住居手当が支給されています。その中でも、「持ち家手当」というのがあり、月に二

みんなの党大津の考え

千円支給されています。国ではすでに人事院勧告によって廃止されているが、大津市では滋賀県の人事委員会によって二千円としており、準拠して支払っています。これは問題ではないか、伺う。

4 『政策立案能力を高める人事制度』

藤井哲也からの質問

これからは都市間競争が激しくなってくる。これまでもまして、職員に政策立案能力の育成が必要となる。あわせて人材育成を有機的にするた

市執行部の答弁

【市長答弁】「評価要素」を曖昧にする以上、全国的にも地方公務員の人事制度として先進的とされる、「岸和田方式」や、「豊田方式」に見られるようにキッチリと評価要素を職階ごとに定義しなければならぬと思うがいかがか。

市執行部の答弁

【総務部長答弁】「評価要素」については、技能業務職に試行しており、有効とわかれば今後導入を検討していく予定。「今度のスケジュール」に関しては、来年度には再構築を終え、調整が終わる次第を導入していきたいと考えています。「処遇への反映」についてもこれまで同様進めていく。

5 『選挙区統廃合と投票所立地見直し』

藤井哲也からの質問

1月の大津市長選挙では、選挙管理委員会の皆様、市職員の皆様の人量もあり投票率がアップした。しかし未だ55%の方が投票へ行っていない。更に民意を政治に反映するため考えていかねばならない。投票区によっては、手狭となっていたり、人口が増えている地域では駐車スペースも十分ではない。また、投票所の立地も不便なところもある。この際、市民を交えて投票区の統廃合を検討していくべきと考えるがいかが見解を伺う。

市執行部の答弁

【選挙管理委員長答弁】確かに議員が述べたとおりであり、今後市民を交えて選挙区統廃合や投票所立地の見直しを検討していきたい。

みんなの党大津の考え

【総務部長答弁】「宿泊料」の中には、食事代などを含めたものとして定額支給をしている。しかし今後には内容について調査研究していきたい。

みんなの党大津の考え

このほかに残業手当についても質問を行いました。総じて民間の感覚ではおかしい手当てについて取りあげましたが、私なりに

藤井哲也からの質問

は部下評価する上司の「評価力」である。以上のことを踏まえて3点伺いたい。

市執行部の答弁

【総務部長答弁】「評価要素」については、技能業務職に試行しており、有効とわかれば今後導入を検討していく予定。「今度のスケジュール」に関しては、来年度には再構築を終え、調整が終わる次第を導入していきたいと考えています。

市執行部の答弁

【総務部長答弁】「評価要素」については、技能業務職に試行しており、有効とわかれば今後導入を検討していく予定。「今度のスケジュール」に関しては、来年度には再構築を終え、調整が終わる次第を導入していきたいと考えています。

みんなの党大津の考え

藤井哲也からの質問

未だに大津市では「年功序列型人事制度」が運用されている。信じられない能力も意欲も低い人でも継続年数が長ければ、ある程度高い報酬が支払われる。しかし忘れてはいけないのは、それは税金という事。早急に制度を再構築し、導入して頂きたい。

市執行部の答弁

【総務部長答弁】「評価要素」については、技能業務職に試行しており、有効とわかれば今後導入を検討していく予定。「今度のスケジュール」に関しては、来年度には再構築を終え、調整が終わる次第を導入していきたいと考えています。

みんなの党大津の考え

未だに大津市では「年功序列型人事制度」が運用されている。信じられない能力も意欲も低い人でも継続年数が長ければ、ある程度高い報酬が支払われる。しかし忘れてはいけないのは、それは税金という事。早急に制度を再構築し、導入して頂きたい。

藤井哲也からの質問

【選挙管理委員長答弁】確かに議員が述べたとおりであり、今後市民を交えて選挙区統廃合や投票所立地の見直しを検討していきたい。

市執行部の答弁

【総務部長答弁】「評価要素」については、技能業務職に試行しており、有効とわかれば今後導入を検討していく予定。「今度のスケジュール」に関しては、来年度には再構築を終え、調整が終わる次第を導入していきたいと考えています。

市執行部の答弁

【総務部長答弁】「評価要素」については、技能業務職に試行しており、有効とわかれば今後導入を検討していく予定。「今度のスケジュール」に関しては、来年度には再構築を終え、調整が終わる次第を導入していきたいと考えています。

みんなの党大津の考え

藤井哲也からの質問

便利な立地(駅への経路等)に投票所が設置されることで、若い世代や交通弱者の方々の民意も、政治へ反映されることとなります。市執行部が述べている通り、早急に実施して頂きたい。

市執行部の答弁

【総務部長答弁】「評価要素」については、技能業務職に試行しており、有効とわかれば今後導入を検討していく予定。「今度のスケジュール」に関しては、来年度には再構築を終え、調整が終わる次第を導入していきたいと考えています。

みんなの党大津の考え

便利な立地(駅への経路等)に投票所が設置されることで、若い世代や交通弱者の方々の民意も、政治へ反映されることとなります。市執行部が述べている通り、早急に実施して頂きたい。

【お知らせ】 5月19日(土)午後11時に「滋賀県を元気にする若手起業家講演会(研修会)」をふれあいプラザ開催します。ご参加は無料です。また、6月3日(日)お昼に、みんなの党大津の市政報告会をおごとで開催します。こちらは会費制(昼食付)です。この機会にみんなの党大津へご意見を賜れましたら大変嬉しく思っております。

● 会派連絡先
 大津市御陵町3-1
 市役所本館3F 議員控室

● 藤井議員自宅連絡先
 大津市真野1-13-7-205
<http://www.fujitetsuya.jp>
 メール
 tetsuya@fujitetsuya.jp
 フェイスブック
 「fujitetsuya53」
 ツイッター
 @fujii_tetsuya
 FAX : 050-3488-7717
 ※ブログを週1、2回書いております。